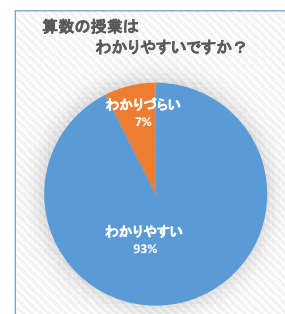
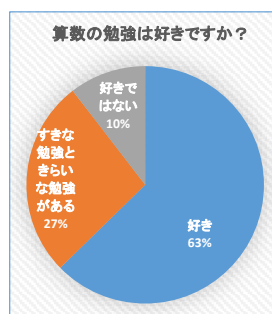
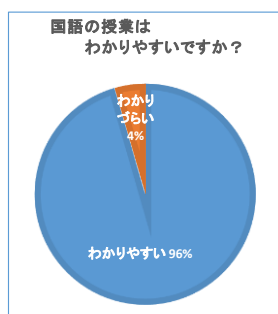
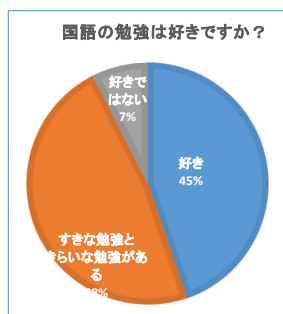


R1. 5実施 国語・算数アンケート 結果の分析



5月に実施したアンケート結果をまとめました。運動会の練習中でしたが、取組にご協力いただきありがとうございました。2枚目以降に全体及び学年別の集計結果を載せてありますので、ご覧ください。

【国語について】

○国語の授業が「わかりやすい」という回答が96%でした。昨年度からの単元を見通しての指導や1単位時間の丁寧でわかりやすい授業実践の積み重ねの結果だと考えられます。今後も日々の授業を大切にしたい積み重ねをしていきましょう。

○「国語の勉強は好きですか？」という質問に対し、「好き」が45%であり、昨年同様に「好きな勉強と好きでない勉強がある」児童（48%）が多いことがわかります。学年間の差はありますが、苦手意識のある学習内容をいかにわかりやすく指導していくかを考えていく必要があります。

○好きな活動については、読書（85%）が最も高く、朝読書の効果をはっきり表れていると考えられます。読書の力が物語文や説明文の読み取り等につながるといいと思います。授業の関わりとして、グループでの話し合い（78%）が好きな児童が多いので効果的に取り入れるとよいかもしれません。

○好きな活動については、ほとんどの項目で2月実施の結果よりも「好き」の割合が増える、または現状維持でした。授業改善や朝学習・朝読書の取組の効果が表れていると考えられます。

○好きな活動について、全校で60%以下となったのは「自分の考えたことを発表すること」（57%）です。国語の場合、算数よりも答えが明確に感じないこともあると思いますが、積極的に発表したりすることを褒めたり、全体の前でも話ができるような活動場を増やしたりすることも大切だと考えます。

【算数について】

○算数の授業が「わかりやすい」という回答は93%でした。算数が「好き」と回答した児童は63%ですが、わかりやすいという児童が多く、授業スタイルが定着していることや複数体制できめ細やかな指導が行き届いていることが要因だと考えます。教えて考えさせる授業の実践を継続しながら、丁寧でわかりやすい授業を大切にしていきたいです。